

令 和 6 年 度
(2024 年度)

決 算 審 査 意 見 書

浅川清流環境組合監査委員



浅川監第18号
令和7年(2025年)9月16日

浅川清流環境組合

管理者 古賀壮志様

浅川清流環境組合監査委員 福島基

浅川清流環境組合監査委員 水谷たかこ

令和6年度浅川清流環境組合決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和6年度浅川清流環境組合決算を審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第1 審査の概要	-----	1
1 審査の種類	-----	1
2 審査の対象	-----	1
3 審査の期間	-----	1
4 審査の着眼点及び実施内容	-----	1
 第2 審査の結果	-----	2
1 総 括	-----	2
2 一般会計	-----	3
(1) 歳入決算状況	-----	3
① 款別歳入状況	-----	3
② 歳入決算状況の内訳	-----	4
(2) 歳出決算状況	-----	5
① 款別歳出状況	-----	5
② 歳出決算状況の内訳	-----	5
③ 予備費充当の状況	-----	6
④ 予算の流用状況	-----	7
3 財産に関する調書	-----	8
(1) 土地及び建物	-----	8
(2) 物 品	-----	8
(3) 基 金	-----	8
 第3 意見・要望等	-----	9

注 記

- イ 文中に用いる金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。
そのため、合計等と符合しない場合がある。
- ロ 比率 (%) は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- ハ 構成比率については、内訳の計が 100.0% とならない場合がある。

令和6年度浅川清流環境組合決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定による審査

2 審査の対象

- (1) 令和6年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和6年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和6年度浅川清流環境組合一般会計実質収支に関する調書
- (4) 令和6年度浅川清流環境組合財産に関する調書

3 審査の期間

令和7年7月1日から令和7年9月16日まで

4 審査の着眼点及び実施内容

審査にあたっては、管理者から提出された一般会計決算書及び付属書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているかを主眼として、関係書類、帳票類と照合その他通常実施すべき審査手続きにより実施した。

なお、本審査は浅川清流環境組合監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

1 総括

令和6年度浅川清流環境組合一般会計の歳入歳出決算の総額は、表1に示すとおりである。

審査に付された一般会計の決算書及び決算付附属書類は、地方自治法及び関係法令の規定に従い、会計原則に沿って作成されている。総括的に予算の執行状況をみると、地方自治法及び関係法令等に基づき事務処理がなされ、概ね適正に執行されていることが認められた。

更にこれらの計数についても、関係諸帳票及び証書類と照合した結果いずれも符合し、また出納閉鎖日（令和7年5月31日）現在における令和6年度歳計剩余金と、指定金融機関が発行した証書類とを照合検算した結果、その金額は合致しており、当年度における決算を適正に表示しているものと認められた。

表1

令和6年度一般会計歳入歳出決算総括表

(単位：円：%)

予算現額	歳 入		歳 出		歳入歳出決算 差 引 残 額	翌年度へ繰り越すべき財源				
	決 算 額	収入率	決 算 額	執行率		継続費通次	繰越明許費	事故繰越	実質収支額	
						繰 越 額	繰 越 額	繰 越 額		
2,314,802,000	2,403,064,188	103.8	2,246,950,338	97.1	156,113,850	0	0	0	156,113,850	

表2

款別歳入状況

款 别	区 分	令 和 6		
		予算現額 (A)	調 定 額 (B)	収入済額 (C)
1 分 担 金 及 び 金 負 担	分 担 金 及 び 金	1,767,060,000	1,767,060,000	1,767,060,000
2 使 用 料 及 び 料 手 手	使 用 料 及 び 料	1,000	0	0
3 繰 越 金	繰 越 金	245,318,000	245,317,973	245,317,973
4 諸 収 入	諸 収 入	302,423,000	390,686,215	390,686,215
合 計		2,314,802,000	2,403,064,188	2,403,064,188

2 一般会計

(1) 歳入決算状況

① 款別歳入状況

款別歳入状況の年度比較は、表2に示すとおりである。

歳入決算額は、24億306万4千円で前年度決算額24億2,747万1千円と比べ、2,440万7千円(1.0%)の減少となっている。予算現額23億1,480万2千円に対しては、103.8%の収入率で前年度108.2%と比べ、4.4ポイントの減少を示し、調定額24億306万4千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

年 度 比 較 表

(単位：円：%)

年 度		収 入 済 額 構成比	予算現 額対比 (C)/(A) ×100	調定額 対比 (C)/(B) ×100	令和5年度 収入済額 (D)	対 前 年 度	
不納欠損額	収入未済額					増減額(E) (C)-(D)	比率 (E)/(D)×100
0	0	73.5	100.0	100.0	1,765,810,000	1,250,000	0.1
0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0
0	0	10.2	100.0	100.0	162,901,770	82,416,203	50.6
0	0	16.3	129.2	100.0	498,759,243	△ 108,073,028	△ 21.7
0	0	100.0	103.8	100.0	2,427,471,013	△ 24,406,825	△ 1.0

② 歳入決算状況の内訳

款1 分担金及び負担金

歳入決算額は、17億6,706万円で前年度決算額17億6,581万円と比べ、125万円(0.1%)の増加となっている。予算現額17億6,706万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額17億6,706万円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は、組合構成市負担金で、事務経費負担金が14億6,706万円、周辺環境整備負担金が3億円となっている。

各市の負担額は、日野市が事務経費負担金として5億5,697万5千円、国分寺市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として6億967万6千円、小金井市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として6億40万9千円となっている。

款2 使用料及び手数料

予算現額は1千円で、前年度と同一である。

款3 繰越金

歳入決算額は、2億4,531万8千円で前年度決算額1億6,290万2千円と比べ、8,241万6千円(50.6%)の増加となっている。予算現額2億4,531万8千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額2億4,531万8千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

款4 諸収入

歳入決算額は、3億9,068万6千円で前年度決算額4億9,875万9千円と比べ、1億807万3千円(21.7%)の減少となっている。予算現額3億242万3千円に対しては、129.2%の収入率で前年度158.0%と比べ、28.8ポイントの減少を示し、調定額3億9,068万6千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

(2) 岁出決算状況

① 款別歳出状況

款別歳出状況の年度比較は、表3に示すとおりである。

歳出決算額は、22億4,695万円で前年度決算額21億8,215万3千円と比べ、6,479万7千円(3.0%)の増加となっている。予算現額23億1,480万2千円に対しては、97.1%の執行率で前年度97.2%と比べ、0.1ポイントの減少を示している。

表3

款別歳出状況 年度比較表

(単位：円：%)

区分 款別	令和6年度				令和5年度				対前年度	
	予算現額	決算額	執行率	決算額構成比	予算現額	決算額	執行率	決算額構成比	増減額	比率
1 議会費	4,699,000	4,361,627	92.8	0.2	5,768,000	4,912,693	85.2	0.2	△ 551,066	△ 11.2
2 総務費	695,116,000	682,580,421	98.2	30.4	618,406,000	599,952,312	97.0	27.5	82,628,109	13.8
3 事業費	633,115,000	598,138,681	94.5	26.6	641,563,000	615,418,426	95.9	28.2	△ 17,279,745	△ 2.8
4 公債費	961,872,000	961,869,609	100.0	42.8	961,872,000	961,869,609	100.0	44.1	0	0.0
5 予備費	20,000,000	0	0.0	0.0	16,679,000	0	0.0	0.0	0	0.0
合計	2,314,802,000	2,246,950,338	97.1	100.0	2,244,288,000	2,182,153,040	97.2	100.0	64,797,298	3.0

② 岁出決算状況の内訳

款1 議会費

歳出決算額は、436万2千円で前年度決算額491万3千円と比べ、55万1千円(11.2%)の減少となっている。予算現額469万9千円に対しては、92.8%の執行率で前年度85.2%と比べ、7.6ポイントの増加を示している。

款2 総務費

歳出決算額は、6億8,258万円で前年度決算額5億9,995万2千円と比べ、8,262万8千円(13.8%)の増加となっている。

予算現額6億9,511万6千円に対しては、98.2%の執行率で前年度97.0%と比べ、1.2ポイントの増加を示している。

款3 事業費

歳出決算額は、5億9,813万9千円で前年度決算額6億1,541万8千円と比べ、1,728万円（2.8%）の減少となっている。

予算現額6億3,311万5千円に対しては、94.5%の執行率で前年度95.9%と比べ、1.4ポイントの減少を示している。

款4 公債費

歳出決算額は、9億6,187万円で前年度と同一である。

予算現額9億6,187万2千円に対しては、100.0%の執行率で前年度と同一である。

款5 予備費

歳出決算額は0円で、前年度決算額と同一である。

③ 予備費充当の状況

予備費の充当状況は、0件となっている。

（表4 予備費充当状況表はない。）。

④ 予算の流用（歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用）状況

当年度予算の流用(歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用)状況は、表5に示すとおりである。

表5

予算の流用状況表

流用元

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報酬			12 委託料	2,940,000	1
2 納料			13 使用料及び賃借料		
3 職員手当等	650,000	1	14 工事請負費		
4 共済費			15 原材料費		
5 災害補償費			17 備品購入費		
7 報償費			18 負担金、補助金及び交付金		
8 旅費			21 及び賠償金		
9 交際費			22 及び割引料		
10 需用費			26 公課費		
11 役務費			合計	3,590,000	2

流用先

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報酬			12 委託料		
2 納料	650,000	1	13 使用料及び賃借料		
3 職員手当等			14 工事請負費		
4 共済費			15 原材料費		
5 災害補償費			17 備品購入費		
7 報償費			18 負担金、補助金及び交付金	2,940,000	1
8 旅費			21 及び賠償金		
9 交際費			22 及び割引料		
10 需用費			26 公課費		
11 役務費			合計	3,590,000	2

※本表は、当該年度の流用のうち、歳入歳出決算事項別明細書に記載のあるものについて示したものである。

3 財産に関する調書

当年度末現在における財産の状況は、次に示すとおりである。

(1) 土地及び建物

当年度末現在における状況は、表6に示すとおりである。

表6

(単位：m²)

区分		土地（地積）			建物								
					木造（延面積）			非木造（延面積）			延面積計		
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高									
行政財産	可燃ごみ処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20
	合 計	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20

(2) 物 品

当年度末現在における状況は、表7に示すとおりである。

表7

※取得価格100万円以上のみを記載

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
携帯型水銀測定器	2	0	0	2

(3) 基 金

当年度末現在における状況は、表8に示すとおりである。

表8

財政調整基金

(単位：円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	225,726,000	122,659,000	0	348,385,000

第3 意見・要望等

浅川清流環境組合は、日野市、国分寺市、小金井市の3市により、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として、平成27年7月1日に設立された一部事務組合である。

令和6年度は、組合設立10年目となり、可燃ごみ処理施設の本格稼働の5年目である。

歳入決算額は24億306万4千円で、前年度決算額24億2,747万1千円と比較すると2,440万7千円(1.0%)の減少となった。主な増減内訳は、余剰電力売電料が単価下落により1億595万3千円(22.5%)の減、前年度繰越金が8,241万6千円(50.6%)の増となっている。

歳出決算額は22億4,695万円で、前年度決算額21億8,215万3千円と比較すると6,479万7千円(3.0%)の増加となった。主な増減内訳は、総務管理費の償還金、利子及び割引料が4,120万9千円(50.6%)の増、積立金が4,120万7千円(50.6%)の増、ごみ処理費の委託料が焼却灰等処分業務委託料の減等により1,538万3千円(2.7%)の減となっている。

令和6年度の歳入歳出差引残額は1億5,611万4千円で、前年度歳入歳出差引残額2億4,531万8千円と比較すると8,920万4千円の減少となった。

予算の執行管理については、概ね適正に処理されていた。

施設運営にあたっては、今後も3市の連携を密にするとともに、市民に対して積極的に情報発信を行い、周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営に努められたい。